

記入要領

2022 年度 新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究 研究計画書作成・記入要領

看護研究交流センター

研究計画書様式 2-②は、新潟県立看護大学看護研究交流センター（以下「センター」略）の地域課題研究費の交付を申請しようとする者が、あらかじめ当該研究計画に関する概要を記入し、センター長あてに申請するものであり、地域課題研究費助成金審査の資料となるものである。

下記の点に留意した上で、指定された研究計画書様式を使用し、共同研究者である本学教員の指導の下、作成すること。所定の様式の改変は認められない。

なお、審査の結果は「地域課題研究費助成金決定」をもって通知する。

研究のメンバー・テーマ・方法等の申請内容に変更があった場合は、速やかに申請内容変更届様式 3 と研究計画書（申請内容変更届用）を提出すること。なお、研究のテーマ・方法の変更内容によっては変更が認められない場合がある。

記

注意

研究メンバーは新潟県内の看護職と本学の教員で構成する。申請代表者は新潟県内の看護実践に携わる看護職とし、本学の教員（教授、准教授、講師、助教のいずれか）を共同研究者とする。申請できる研究テーマ数は 1 件に限るものとする。

1. 「学内責任者」は 1 名とし、研究メンバーに複数の本学教員がいる場合も同様とする。
2. 「所属」欄には、研究計画書作成時点での所属・職を記入する。
3. 「研究経費」の欄には、研究計画に基づいて、使用内識別にそれぞれ記入し、総計を記入する。予定予算を下回することは可能だが、上回することは認められない。
4. 各経費内訳の明細は、地域課題研究オリエンテーション後、資料を参照の上、項目ごとに「必要とする理由」とともに研究遂行のための経費として実際の金額を調べて記入する。但し、旅費は申請額全体の 6 割を超えない範囲とする。
5. 研究採択後止む無く、研究を中断せざるを得ない場合は、地域課題研究辞退届様式 4 を提出する。なおこの場合、これまでに掛かった研究経費を含む全額を返金するものとする。